

新年のごあいさつ 会長 増田 正樹

新年以来、おめでとうございます。昨年は、新型コロナウイルス感染症に振り回され、未だ終息の見えない不安の中で暮らしています。当会の活動においても、例年であれば、冬は越前ガニに舌づつみを、春は桜に誘われて、春と秋は見所を巡つてと、四季折々訪れる多くのお客様へのガイドを担つておりましたが、昨年四月にはガイド活動を中止、九月になつてようやく再開することができました。以前と同じ笑顔でお出迎え、でもお互いに感染予防に配意しながらのご案内となっています。一方、六月には、敦賀市にとって二件目の日本遺産「海を越えた鉄道」「世界につながる鉄路のキセキ」が認定され、十一月には人道の港敦賀ムゼウムがリニューアルオープンしており、魅力ある観光資源の輝きが増しています。北陸新幹線敦賀開業に向け、多くの観光客をお迎えする準備が着々と整いつつあります。一昨年策定された「北陸新幹線敦賀開業に向けた敦賀市行動計画」の基本方針にもある「ホスピタリティあふれる敦賀人の育成」について、当会は魅力あるガイドの充実、市民向け出前講座の実施等を推進することとしています。具体的には、研修会の開催や当会の作成図書「みなど・つるが・いまむかし」の改訂作業を通じたガイドスキルの向上、また市民のおもてなし力向上取組として、敦賀の「みどころ」ガイドブックの活用や出前教室の教材作成をそれぞれ進めています。ガイド活動とガイドスキル向上、自主活動と他主体との協働、今できる活動と将来につなげる活動等、多面的な視点を持ち積極的に進めて参ります。本年も、当会の活動についてご理解とご支援を、よろしくお願ひいたします。

ごあいさつ

神楽べっぴん会 会長 中道尚子さん



「女性の目線でいろいろ発信してほしい」という商店街振興組合の理事長の発案を受け、4年前に結成し現在は13名のべっぴんおかみで活動しています。お正月にはつきたてのお餅を敦賀の花「萩」の木に飾つて本物の餅花を作り、5月には「鯉のぼり」を商店街のアーケードに取り付けたりして、商店街に季節や彩を感じてもらえるような企画を行っています。そんな企画を通して、べっぴん会メンバー 자체が今まで以上に仲良くなり、一層楽しい会になってきていると感じています。

また、これから北陸新幹線敦賀開業に向け自分達商店に出来ることは何かをいろいろな角度から意見交換し、各店舗がお互に刺激しながら活動を模索しています。微力ながら敦賀の賑わいのために頑張つていきたいと思いつますのでどうぞよろしくお願い致します。





INFORMATIONS

☆敦賀市立博物館 「刀剣資料公開展」

現在、敦賀市立博物館では、「刀剣資料公開展」が開催されています。博物館が所蔵する郷土ゆかりの刀剣を中心に、優れた刀剣や刀装具などが四期に分けて展示紹介されています。ぜひこの機会にご覧ください。

日時/ 第1期	12月18日(金)～1月11日(月)	敦賀の古刀
第2期	1月13日(水)～1月29日(金)	郷土の刀剣と新刀
第3期	1月30日(土)～2月14日(日)	越前康継と下坂鍛冶
第4期	2月16日(火)～3月2日(火)	若狭冬廣を中心に

☆福井県立歴史博物館 「越前・若狭 習いの形」

令和3年は、嶺北地域（敦賀を除く旧越前国）と嶺南地域（旧若狭国と越前敦賀）がひとつとなり、現在の「福井県」が成立してから140年目の年にあたります。嶺北と嶺南は、古くからそれぞれ関わりながら独自の歴史と文化を積み上げてきた地域で、多彩な文化財が伝えられています。

この企画展では、嶺南・嶺北の人々の「願い」がこもる品々を中心に、両地方の魅力と多様さが紹介されています。2月7日は「ふるさとの日」、ふるさと福井の多彩な文化財に触れてみては如何ですか。

時/ 令和3年1月3日（日）～2月14日（日）

ガイドの依頼・問合せ

ガイドの依頼及び問合せは、敦賀観光協会にて受付けています。申込み用紙は、下記のアドレス（敦賀観光案内サイト浪漫敦賀）からダウンロードし、必要事項を記入していただいた後、敦賀観光協会宛てにお送りください。

敦賀觀光協會 TEL 0770-22-8167
FAX 0770-22-8197
<http://www.turuga.org/index.htm>

ガイドメンバー募集中

観光ボランティアガイドつるがは、随時メンバーを募集しています。敦賀のことをもっと知りたい方、観光に来られた方に紹介したい方、人と接するのが好きな方、入会に制限はありません。下記の連絡先までお気軽にお問い合わせ下さい。

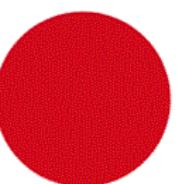
ボランティアガイドつるが TEL 0770-21-0056
敦賀観光協会 TEL 0770-22-8167

各地で熊の出没が多発しています。我々ボランティアガイドも金崎城址や玄蕃尾城跡など熊の出そうなところの案内には、熊よけの鈴を携帯することになりました。

熊出没の原因は、もともと奥山に暮らしていた熊が、餌となるドングリの実などの不作もありますが、人が立ち入らなくなつた里山に住みつき、空き家になつた人家の庭の柿の実を食べたり、農作物を食べに来るなど、容易に食物が得られる人の生活圏へどんどん入ってきたといわれています。

熊も生活のために必死です。単に駆除すれば済むことではありません。熊さんに山へ帰つてもらうための方法を考えていかないといけませんね。

「日本遺産」 鉄路のキセキ



The logo consists of a vertical barcode-like pattern of black vertical bars of varying widths, followed by the text "JAPAN HERITAGE" in a bold, sans-serif font.

日本遺產

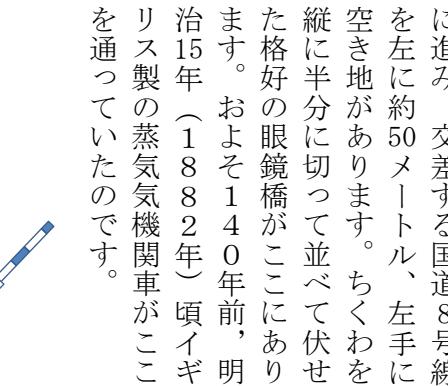
地域の有形・無形の文化財をテーマでまとめて観光振興などに繋げる「日本遺産」に、敦賀市、南越前町、長浜市にまたがる旧北陸線沿いの鉄道遺産の魅力を伝えるストーリー『海を越えた鉄道、世界へつながる鉄路のキセキ』が昨年6月に認定されています。今回は、敦賀市内にある「眼鏡橋」を紹介します。

眼鏡（めがれ） 桥 勝賀市
内にあるんやてか？どこに？
こんな声が聞こえできそう
です。敦賀駅を背に真っ直ぐ
に進み、交差する国道8号線
を左に約50メートル、左手こ

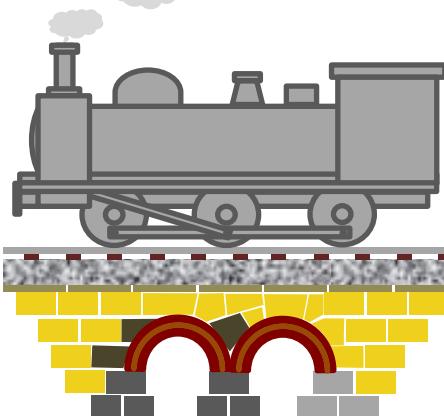
よく名残りでいてくれた。日本遺産認定に間にあつてよかつた。掃除や除草を率先して行い保存作業に当たられてきた川勝

線男さんは愚謔の思いでい
っぱいです。

われたことで約3年の間の役
目は終わったのです。



面から来た列車が氣比神宮の前にあつた旧敦賀駅へ、更に終点の金ヶ崎駅と向かつたのです。当時、眼鏡橋の付近は田んぼの真ん中で水路をまたぐ橋が必要で造られたものですが。列車の重量に耐えられる橋は木造では無理。当時の技術で、レンガを積み重ねる方法で作られました。



小さな宝に大きな歴史
「眼鏡橋に思う」
川勝紀男氏

のめがね橋には及びませんが、七年前にこの橋が壊されるかとの情報が入り、敦賀市に保存をお願いし幸いにも現在に至っています。この時ボランティアで面倒をみたいと市に申し出て承認を得ました。長続き出来るよう自分なりに行動しよう！と除草、水路掃除、レンガその他全体の点検を定期的に実施しています。今では、THAPグループの皆さんにも協力をいただきボランティア活動を行っています。小さな宝ながら大きな歴史のある「眼鏡橋」！鉄道の町つるが、新幹線も来て車両基地もできる、この歴史が基になつてこそだと思います。出来る限りボランティア活動を続け市民の皆さんにも見守つていただきたいと思つています。



地元小学校の生徒さん達からとても
丁寧な可愛い札状が届きました！！

という声も多く聞かれたそうです。県内の身近な良いところに触れ、地元愛を育み歴史にも学んでほしいとガイドの声に力が入ります。

また、旧北陸線を中心とした日本遺産の認定により報道をご覧になつた方やご家族が国鉄にお勤めだつた方が、鉄道資料館に来られ、写真などをご覧になり楽しく懐かしく話してただくこともあります。

電車のプリントがあるマスクをしたお子様など、電車の好きなお子様と一緒にご家族をお迎えするごとに微笑ま

鉄道資料館への来館者も秋頃から徐々に増え、皆さんへの検温や受付表への記入、手指の消毒の実施などをお願ひし感染対策を万全にしてお迎えしています。また、これまでで鉄道資料館で開催してきた「鉄道カフェ」も会場をより広い会場の松原公民館に変更することも有ります。

学びの場所歴史に触れる場所、楽しい出会いの場所、海の見える憩いの場になつてきているようです。

私たち「観光ボランティアガイドつるが」は、笑顔でもてなしの心とともに、魅力ある案内をさせていただきました。いと日々取り組んでいます。

A group of six people in formal attire (men in suits) are gathered outdoors near a stone wall. One man in a red jacket is holding a small object. A sign on the wall reads "上山地蔵堂" (Jizo Hall). The ground is covered in fallen leaves.

私たち「観光ボランティアガイドつるが」の活動



鉄道資料館への来館者も

つるがは、お越しただいた観光客皆さんに真心をもつて敦賀をご案内してい
ソイルスの影響でその機会も減つていましたが、秋頃からは徐々にガイドの依頼も
増えてきました。コロナ対策を万全にして皆さんをお迎えしたいと思っています。

私たち「観光ボランティアガイドつるが」の活動



私たちと一緒に楽しく活動を行ってみませんか。皆さんからのご連絡をお待ちしています。